

在宅医療に関する 高松市医師会の取り組み

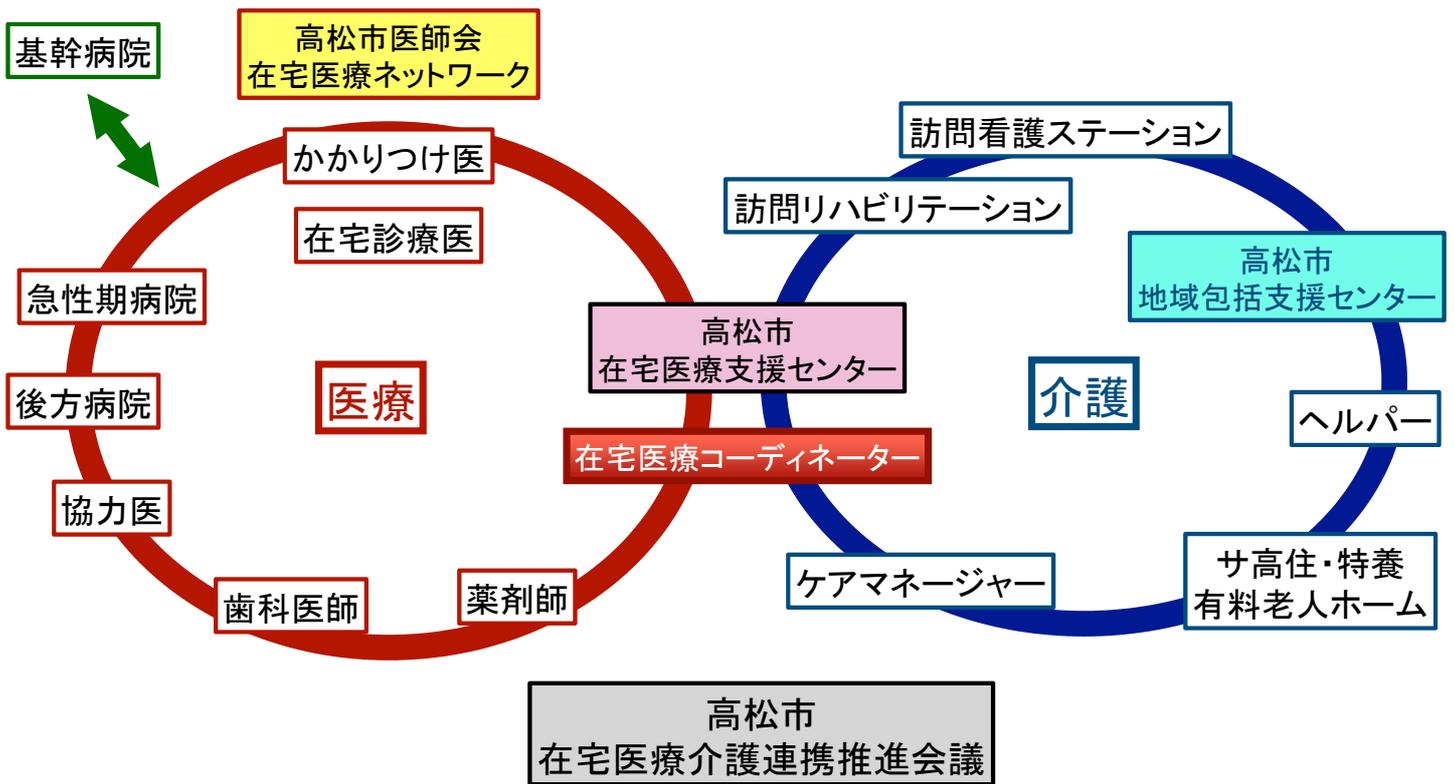
高松市医師会 在宅医療・病診連携部 吉澤 潔

1

高松市医師会の在宅医療・介護連携推進事業

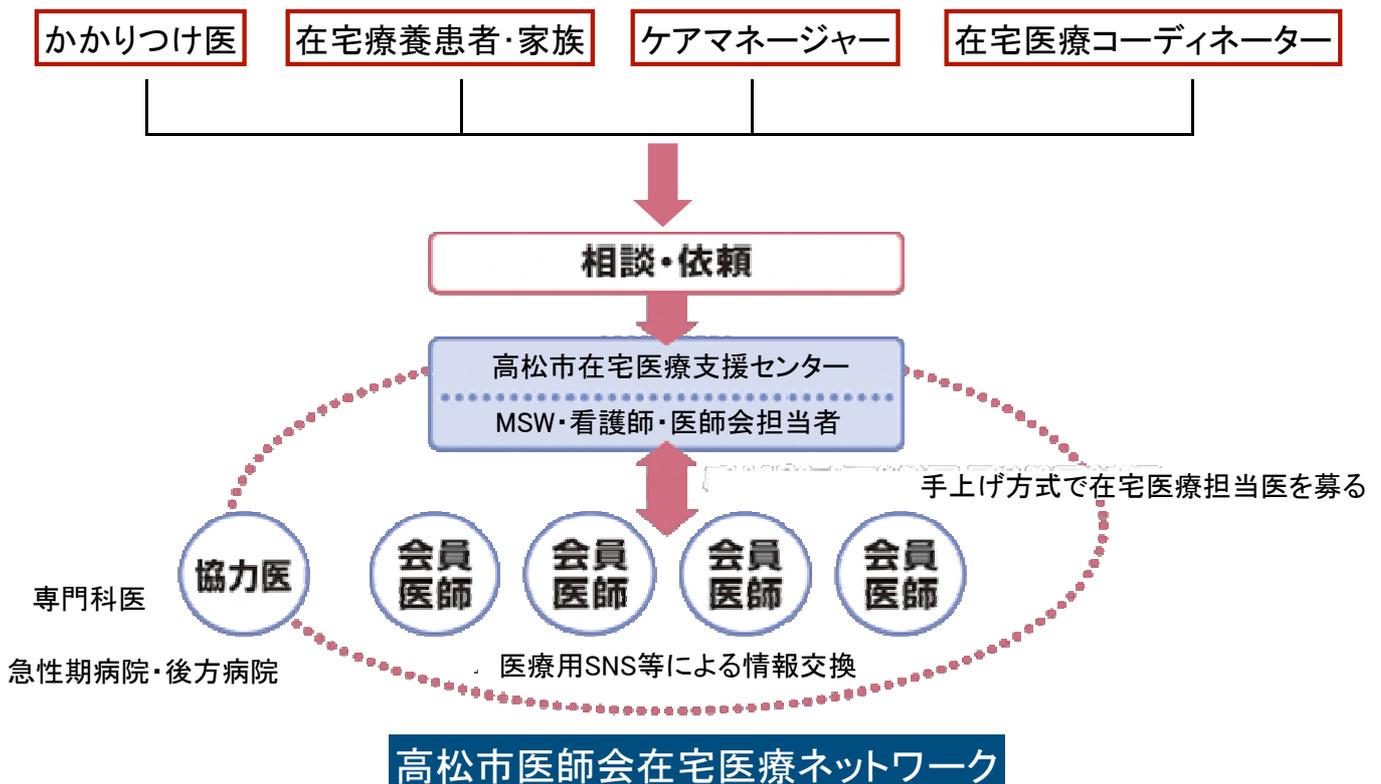
- **高松市医師会単独事業**
高松市在宅医療連絡協議会（在宅医療ネットワーク）
- **高松市からの委託事業**
高松市在宅医療・介護連携推進会議
 - ・在宅医療コーディネーター部会
 - ・ICT部会
 - ・退院支援・医療介護連携部会
 - ・多職種連携研修部会高松市在宅医療支援センターの支援と連携
- **香川県・香川県医師会主催事業**
香川県在宅医療推進協議会 委員
香川県地域包括ケアシステム学会 世話人
- **四国四市医師会在宅医療WEB会議**

高松市における医療・介護連携のイメージ



3

高松市医師会在宅医療ネットワーク



4

設置目的

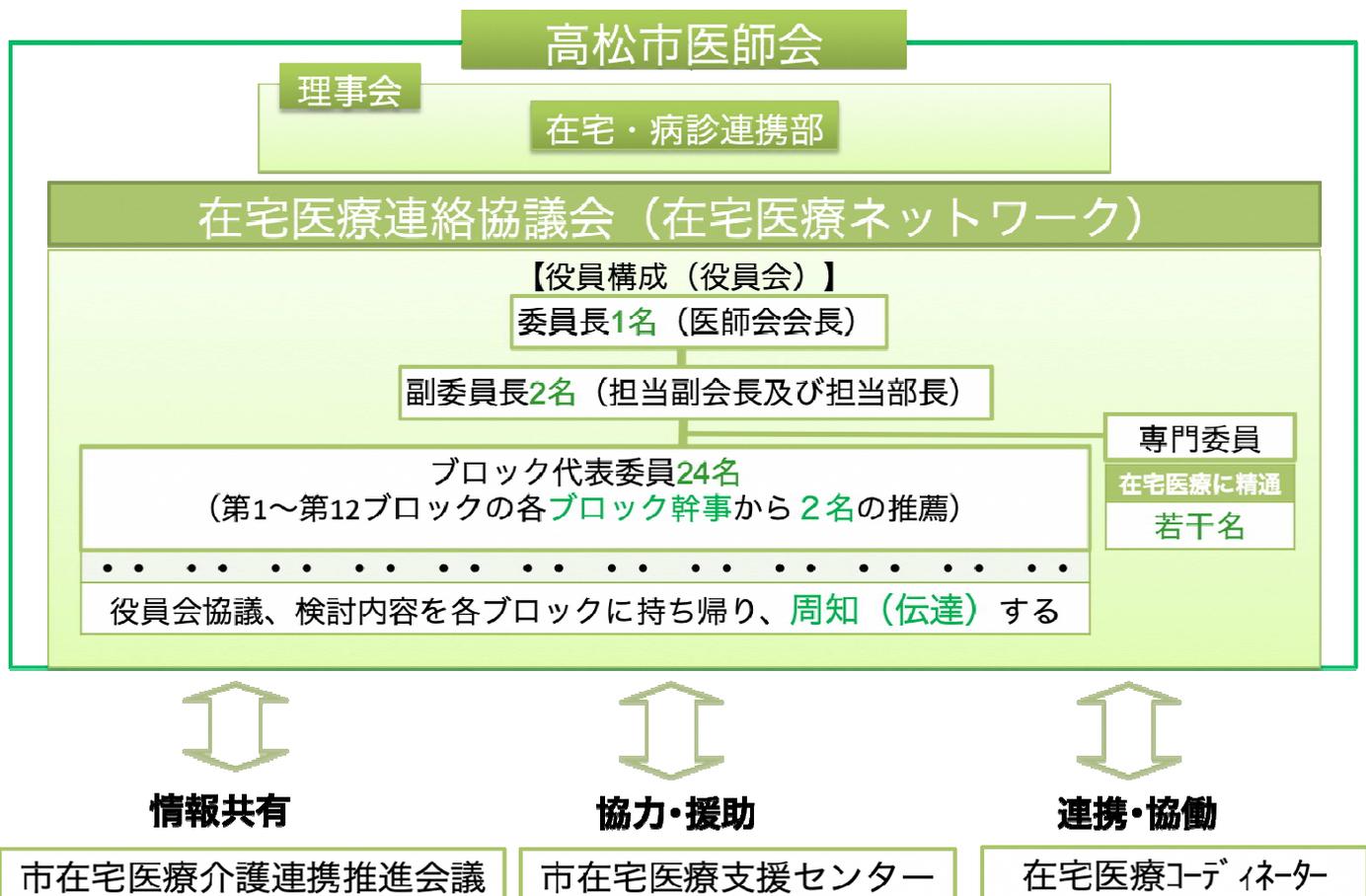
高松市及び周辺地域において、在宅患者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、在宅医療に携わる医師会会員が互いに連携し、円滑に活動できる環境整備を図ることを目的とする。

1. **在宅医療を行う医師**を増やす
2. 在宅医の連携システムの構築
3. **後方支援病院**の確保 等



「在宅医」と「在宅医」、
「在宅医」と「**後方支援病院**」
など在宅医療に携わる医師会会員が互いに連携し、円滑に活動できる環境を整えることにより、**多くの在宅患者に対応することができる。**

5



6

事業内容

7

高松市医師会在宅医療連絡協議会 事業内容

目的：1.在宅医療を行う医師を増やす
2.在宅医の連携システムの構築
3.後方支援病院の確保

●役員会の開催(年2回)

目的達成に向けた具体策を協議する。

【主な協議内容】

- ・在宅医療ネットワークの構築に関すること
- ・研修会等の企画
- ・地域（ブロック）で抱えている問題や課題を抽出し解決策を検討
- ・高松市在宅医療介護連携推進事業の報告による情報共有 等



8

目的：1.在宅医療を行う医師を増やす

●在宅報酬に関する説明会の開催

在宅医療における診療報酬制度は非常に複雑であり、医師が自信を持って患者に在宅医療をマネジメントすることが非常に困難な現状にある。

その状況を少しでも解消するために、**在宅医療に関する診療報酬の内容だけに特化した説明会**をその分野の専門家を招いて開催する。

【講師候補案】

- ・厚生労働省（関連）担当職員
- ・在宅医療を専門としている県外医師

【対象者】

- ・協議会会員「以下会員」
- ・会員医療機関の職員
- など
- ・会員と連携する多職種

など

9

目的：1.在宅医療を行う医師を増やす
2.在宅医の連携システムの構築

●ICTを活用した情報共有ツールの利用に関する研修会の開催

多職種が様々な時間帯に患者の自宅を訪問してサービスを行うため、患者の日常の様子や状態の変化をタイムリーに把握するためには、タブレット端末等の機器を活用した情報共有の効果が高い。

また、多職種がそれぞれで違うシステムを利用するのでは、共有がしづらい。

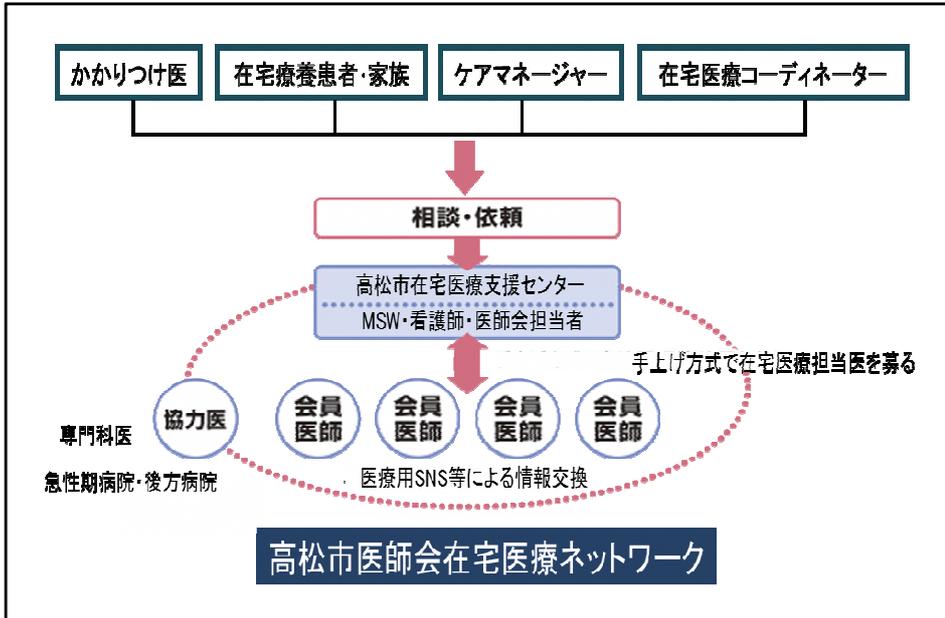
連絡協議会で**情報共有システム**（ツール）を定め、その**説明会を開催**することで普及させる。【利用は任意】



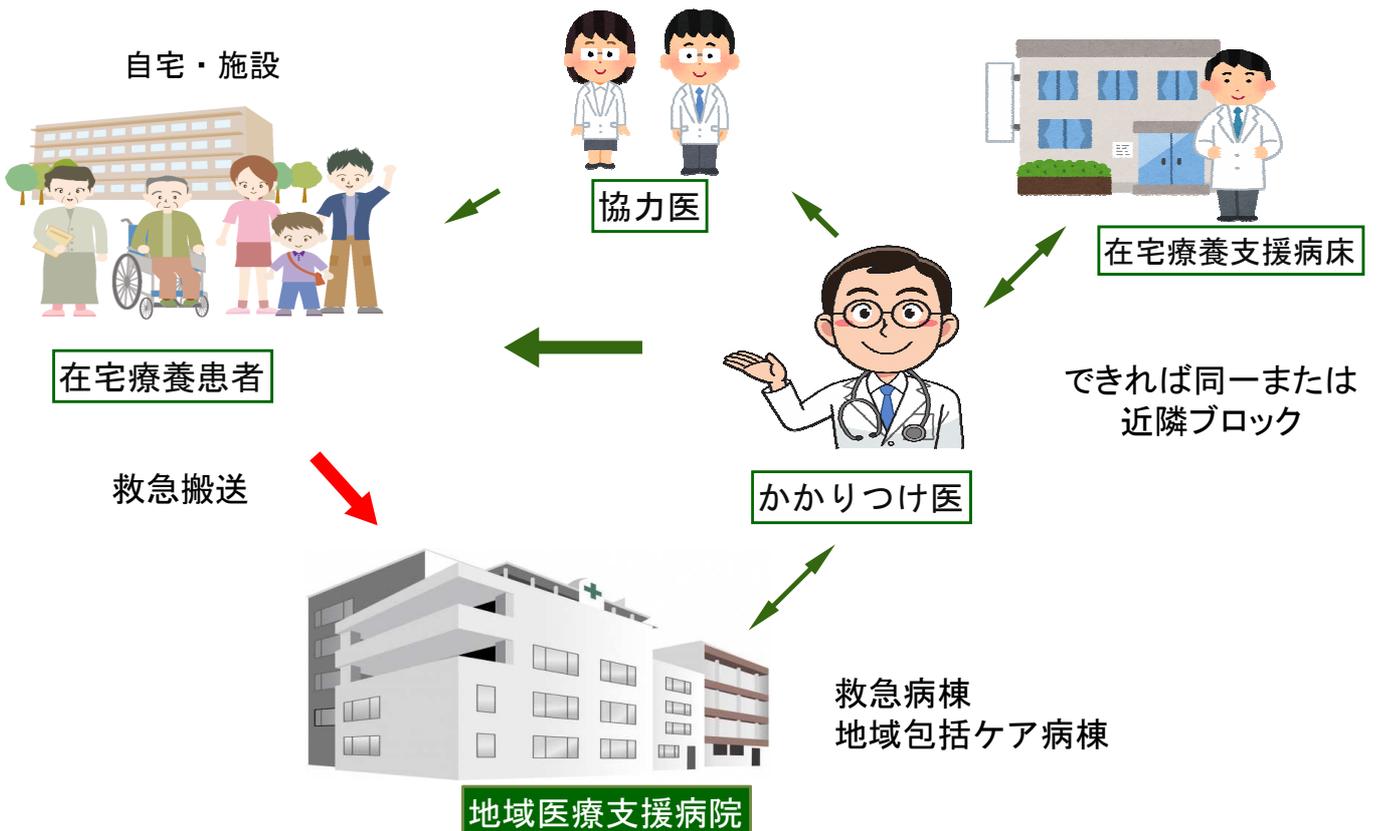
目的：2.在宅医の連携システムの構築

●高松市在宅医療支援センターとの連携

平成30年10月1日に高松市役所2階に開設！



高松市の在宅医療における救急バックアップ体制



在宅医療ネットワーク事業計画

- 在宅医療を推進するための研修会企画

 - 診療・介護報酬に関する勉強会

 - ICT利用に関する説明会

 - 入退院支援ルールの普及・啓発

 - 在宅緩和ケアに関するセミナー etc.

- 在宅医療実施機関相互の情報共有

 - 在宅医療における救急体制の整備（有床診療所、病院との連携）

 - 多職種連携の推進（介護施設・訪問看護・在宅医療支援センター等の有効活用）

 - 在宅医療実施機関同士および協力医療機関との連携（患者紹介、診療代行）

 - 各ブロックおよびその周辺における在宅医療に関する問題点の検討 etc.